

6. 住宅の高断熱外皮

外皮仕様事前登録番号	ZEHビルダー登録番号	外皮仕様事前登録番号
------------	-------------	------------

「様式第1 交付申請書」シートで入力してください。

(1) 導入する断熱材の仕様情報及び費用を記入

複数の断熱材を使用する場合は、組合せを含む部位面積の大きいものから順に2種類まで記入すること。

熱的境界部位	断熱材の仕様		部位面積 (㎡)	
	断熱材の仕様(製品名)	厚さ(mm)		
屋根				
天井				
外壁 一般部				
外壁 階間部				
床断熱仕様				
外気に接する床 (オーバーハング、ピロティ等)				
熱的境界部位	断熱材の仕様		部位長さ (m)	部位床面積 (㎡)
	断熱材の製品名	厚さ(mm)		
基礎断熱仕様	垂直部			
	水平部			
土間床部分 玄関部等	垂直部			
	水平部			
土間床部分 浴室部	垂直部			
	水平部			

(A) 補助対象費用断熱(円)

円

円/㎡

(2) 導入する全ての開口部仕様情報を次頁(実施計画書3/4)に記入し、所定の個所に費用を記入すること。

窓方位 「実施計画書3/4」より転記	0	0	0	0	その他	合計(㎡)	(B) 補助対象費用窓(円)
窓面積 「実施計画書3/4」より転記	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	円

部位	メーカー名	建具の仕様	断熱の仕様または製品名	熱貫流率 (W/㎡K)	面積 (㎡)
玄関 ドア					
	玄関ドア面積の合計(㎡)				

(B) 補助対象費用断熱外皮(円)
(A)+(B)

0 円

円/㎡

外皮総面積(㎡) 小数点第二位まで、三位以下切捨て	0.00
---------------------------	------

- ・(A)は床面積あたりの自動計算になります。(小数点第二位まで、三位以下切捨て)
- ・(B)は窓面積あたりの自動計算になります。(小数点第二位まで、三位以下切捨て)
- ・(A)+(B)は床面積あたりの自動計算になります。(小数点第二位まで、三位以下切捨て)

7. 方位別窓リスト

導入する全ての窓仕様情報を、窓方位及び寸法ごとに記入。

窓方位	メーカー名	建具の仕様	ガラスの仕様	寸法(m)		熱貫流率 (W/m ² K)	設置箇所数 (箇所)	面積 (m ²)
				幅	高さ			
面積の合計(m ²)								0.00

窓方位	メーカー名	建具の仕様	ガラスの仕様	寸法(m)		熱貫流率 (W/m ² K)	設置箇所数 (箇所)	面積 (m ²)
				幅	高さ			
面積の合計(m ²)								0.00

窓方位	メーカー名	建具の仕様	ガラスの仕様	寸法(m)		熱貫流率 (W/m ² K)	設置箇所数 (箇所)	面積 (m ²)
				幅	高さ			
面積の合計(m ²)								0.00

窓方位	メーカー名	建具の仕様	ガラスの仕様	寸法(m)		熱貫流率 (W/m ² K)	設置箇所数 (箇所)	面積 (m ²)
				幅	高さ			
面積の合計(m ²)								0.00

その他	上記の方位に該当しない窓及び天窗等は窓面積の合計のみ記入	面積 (m ²)

8. 住宅の設備仕様

① 空調設備

I. 個別エアコン（住宅に設置する全ての機器を記入すること）

設置場所	メーカー名	型番	エネルギー消費効率の区分	台数

(C) 補助対象費用 空調設備(円)

II. 温水式暖房(床暖房、パネルラジエーター等)及びセントラル空調システム(熱源機のみ記入)

温水式暖房を設置する場合の熱源(該当するものに■をつける)	<input type="checkbox"/> 暖房専用	<input type="checkbox"/> 給湯設備と併用
-------------------------------	-------------------------------	----------------------------------

(D) 補助対象費用 空調設備(円)

設置場所	種類	メーカー名	型番	定格暖房能力(kW)	定格暖房消費電力(W)	暖房COP	暖房部熱効率(%)

② 換気設備（24時間換気を使用する全ての換気設備を記入すること）

種類	メーカー名	型番	温度(顕熱)交換効率(%)	消費電力(W)	換気風量(m ³ /h)	比消費電力[W/(m ³ /h)]	台数

(E) 補助対象費用 換気設備(円)

③ 給湯設備（セット型番があるものは、セット型番で記入すること）

複数設置する場合、補助対象費用へ記入する設備価格はエネルギー計算に用いた1台分を記入すること

種類	メーカー名	型番	効率					
			電気		ガス	ハイブリッド		
			年間給湯(保温)効率	追焚保温(有/無)	エネルギー消費効率(%)	中間期COP	給湯部熱効率(%)	

(F) 補助対象費用 給湯設備(円)

(注) 燃料電池(エネファーム)の場合は、種類/メーカー名/型番のみを記入すること。また費用の記入は不要とする。

(注) ガスエンジン給湯機(エコウィル)の場合は、発電ユニットの総合効率をガスのエネルギー消費効率欄に記入すること

④ 太陽光発電システム

メーカー名	型番	設置枚数(枚)	公称最大出力(W)	公称最大出力の合計(kW)
合計		0	0	0.000

⑤ エネルギー計測装置(HEMS本体)（こちらに記入した情報は、実績報告書の提出時に添付する保証書の型番と一致させること。）

メーカー名	型番

(注) 計測データの収集・蓄積・出力等を管理している機器の型番を記入すること。

⑥ 蓄電システム

リースなどを利用する場合は■をつける	メーカー名	パッケージ型番		
<input type="checkbox"/>				
初期実効容量の合計(kWh)	蓄電容量(kWh)	保証年数	PCSのタイプ	PCSの定格出力(kW)

補助対象費用 設備(円) (C)+(D)+(E)+(F)

(注) SIIIに登録された、メーカー名/パッケージ型番/初期実効容量/保証年数/蓄電容量を記入すること

9. Webプログラム未評価省エネルギーシステム

登録システム番号

0円
円/m ²